

平成29年度  
日本風力エネルギー学会 定時社員総会

日 時 平成29年5月29日(月) 15:15～16:30  
会 場 科学技術館 第3会議室(6階)

次 第

I 総会

1. 開会
2. 議長(会長)挨拶
3. 総会成立確認
4. 議事

審議事項

- |                  |        |    |
|------------------|--------|----|
| (1) 平成28年度事業報告   | 資料1・・・ | 1  |
| (2) 平成28年度収支決算報告 | 資料2・・・ | 5  |
| (3) 平成28年度会計監査報告 | 資料3・・・ | 10 |
| (4) 補欠監事の選任      | 資料4・・・ | 11 |

報告事項

- |                   |        |    |
|-------------------|--------|----|
| (5) 平成29年度事業計画(案) | 資料5・・・ | 12 |
| (6) 平成29年度収支予算(案) | 資料6・・・ | 14 |
| (7) 名誉会員への推挙について  | 資料7・・・ | 15 |

5. 議長(会長)挨拶
6. 閉会

II 表彰

1. 功 勞 賞 鈴木 茂行様、松村 博久様、中村 成人様
2. 優秀発表賞 藤本 修平様、湯上 訓平様、稲留 将人様
3. 出 版 賞 安田 陽様

☆ 総会終了後、17:15より地下の食堂「パークレストラン」で懇親会(無料)を開催します。

## 日本風力エネルギー学会 平成 28 年度(2016 年度) 事業報告

(自：平成 28 年 4 月 1 日 至：平成 29 年 3 月 31 日)

## (特記事項)

## I. 風力発電の国内外動向

2016 年 11 月に発効したパリ協定には、世界の二酸化炭素排出量の 4 割以上を占めるアメリカと中国が協定に批准し、深刻化する地球温暖化に対して世界の主要国がともに行動を始めることになりました。今後、パリ協定に対するアメリカの動向が注目されますが、地球温暖化防止のために、これまで以上に風力エネルギーの加速的な導入を図らねばなりません。世界の風力発電導入量は 2016 年末に 486.8GW に達しています。我が国の風力発電の導入量も 3.3GW に達しましたが、世界の 0.7% に留まっています。一方、現在環境アセスメント中及び終了した案件は約 1100 万 kW もあり、これらの風力発電設備が確実に建設されれば、2020 年の初頭に 2030 年 1000 万 kW の政府目標が達成されると期待されます。

このような情勢においては、風力発電の信頼性向上とコスト低減のために多くの技術開発が必要です。風車定期安全管理検査制度の施行を見据えたハード・ソフトに係るメンテナンス技術の導入と風車や施工に係る技術開発が両輪になって、設備利用率の向上とコスト低減を達成し、風力発電の事業性を確保・増大させて、固定価格買取制度からの自立化を目指すことが重要です。そのためには今後、ますます本会関係者の活躍が期待されます。

## II. 本会の活動

平成 28 年度には新たに 2 社の特別団体会員が加わり、8 社となりました。この 1 年間、学会支援センターへの業務委託から自前で会員管理等の業務を行うとともに、新たな会計事務所を選定し、会計事務の効率化を図りました。またホームページの充実、2015 年までの学会誌・論文集及び風力エネルギーシンポジウム予稿集の J-STAGE への公開等、会員サービスの向上に努めてまいりました。さらに、風力エネルギーに関する啓発活動の一環として、三重大大学のご協力を得て風力研究関連施設及び青山高原ウインドファーム見学会を開催するとともに、「風力エネルギーハンドブック」の翻訳をさらに進めました。このように、平成 28 年度は学会活動を活発化させて、広く会員サービスに努めることができました。関係各位のご協力とご援助に感謝します。

## (今後に向けて)

今年は本会創設 40 周年を迎えます。これを機会に、40 周年記念号(第 123 号)の発刊、シンポジウムにおける記念集会の開設とともに、人材育成の観点からシンポジウムに英語セッションの設置、研究会の立ち上げ、講習会の拡充、風力エネルギー教材の作成等に取り組みます。

本会は、風力発電のさらなる導入拡大に貢献するとともに、風力エネルギー分野の一層の発展を目指します。会員各位の一層のご理解、ご援助とご協力をお願いする次第です。

## (概略報告/総括)

## 1. 総会、代表委員会、理事会の開催

- ・総会は、5 月 27 日に開催し、平成 27 年度事業報告、収支報告、監査報告について審議承認をいただき、28 年度の事業計画、収支予算について報告・承認された。
- ・代表委員会は、5 月 27 日の総会前に開催した。総会の議案内容について報告し、意見交換を行った。
- ・臨時総会を 8 月 18 日に開催し、定款の変更(事務所移転登記等の変更)について審議承認をいただき、決算書の一部の誤記修正を報告・承認された。
- ・理事会は、これまで計 7 回(4 月 21 日、5 月 27 日、7 月 19 日、9 月 16 日、11 月 7 日、1 月 16 日、3 月 10 日)開催し、各種議案を討議した。

## 2. 委員会等の開催

- ・全体：昨年度に引き続き、風力エネルギー学会規定の更新を行った。
- ・企画・運営委員会：三重大大学の風力研究施設及び青山高原ウインドファームの見学会を開催した。見学会は、青山高原ウインドファーム殿、三重大学殿、日立製作所殿の多大な協力を得て行い、九州、中国、関西を含めて 31 名が参加した。第 38 回風力エネルギー利用シンポジウムを開催した。今回は国の取り組みに関する基調講演

の他、「風力発電の競争力強化に向けて」と「人財育成」をテーマとし、全体で 349 名が参加した。また、来年度は日本風力エネルギー協会／学会の設立 40 周年を迎えるため、記念行事の準備を行った。

- ・ **編集委員会**: 理事会のスケジュールにほぼ合わせて 6 回の委員会及び 2 回の準備会を開催、40 周年記念号 (第 123 号) の企画や学会誌・論文集の編集方針等について検討した。また、風車教育と人財育成に関する座談会を開催し、120 号の特集として掲載した。学会誌は予定通り 4 回発行した。学会誌の特集の内容は、後述する「学会誌・論文集の発行」の通りである。
- ・ **学術・事業委員会**: 風力エネルギーハンドブック研究会にて、Wind Energy Handbook (第 2 版) の翻訳を行った。ただし完成までには至らなかったため、発刊と講習会は次年度に延期することとした。
- ・ **国際・広報委員会**: 原則として毎月第 2 木曜日に日本風力発電協会の国際部会と合同で、計 11 回開催した。国際会議に参加して複数回の発表を実施した。海外団体 (WWEA (世界風力エネルギー協会) と GWEC (世界風力会議)) との交流と協力を行った。また、国内イベントと出前授業にも協力した。
- ・ **表彰委員会**: 本会規程に基づき、功労賞、論文賞、優秀発表賞及びポスター賞を選出し表彰した。論文賞は前年度に本会論文集に掲載された論文を対象に、優秀発表賞とポスター賞はシンポジウムにおける口頭発表者とポスター制作者を対象に選定し、功労賞 (平成 28 年度) と優秀発表賞 (平成 27 年度) は平成 28 年度総会で、論文賞 (平成 27 年度) とポスター賞 (平成 28 年度) は平成 28 年度シンポジウムで表彰した。また学会外においても、本会が後援するイベントにおいて、日本風力エネルギー学会賞の表彰を行った。今年度は委員会を 3 回、作業会を 8 回開催し、表彰時期の見直し (論文賞、ポスター賞) や新たな表彰の創設も含め、本会の表彰制度の在り方について検討した。
- ・ **論文委員会**: 論文審査に関わる事項や論文賞候補の選考は随時メール審議を開催している。平成 28 年度は投稿論文 13 件を審査した (内 6 件掲載、7 件審査中・返却等)。なお、平成 28 年度は前年からの審査持ち越し 2 件を含め 8 件の論文を論文集に掲載した。

### 3. 学会誌・論文集の発行 (第 40 巻)

- ・ 第 1 号 (通巻 117 号) Vo. 40 No. 1 2016 年 5 月発行 850 部  
特集: 洋上風力発電施設の実験用水槽の紹介
- ・ 第 2 号 (通巻 118 号) Vo. 40 No. 2 2016 年 8 月発行 850 部  
特集: 新役員、学会発展に向けた抱負を語る、風力発電に関連した国内外の風洞設備の紹介
- ・ 第 3 号 (通巻 119 号) Vo. 40 No. 3 2016 年 11 月発行 850 部  
特集: 風力発電関連機器産業調査、中大型風力発電システム仕様一覧表
- ・ 第 4 号 (通巻 120 号) Vo. 40 No. 4 2017 年 2 月発行 850 部  
特集: 風車教育と人財育成

### 4. 第 38 回風力エネルギー利用シンポジウムの開催

- ・ 主 催: 日本風力エネルギー学会
- ・ 協 賛: 日本小形風力発電協会、日本風力発電協会 (五十音順)
- ・ 後 援: 産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本科学技術振興財団、日本風工学会、日本太陽エネルギー学会、日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会 (五十音順)
- ・ 開 催 日: 11 月 30 日・12 月 1 日
- ・ 開催場所: 科学技術館／東京
- ・ 参加者数: 349 名

### 5. 再生可能エネルギー 2016 国際フォーラムと第 11 回再生可能エネルギー世界展示会の開催への協力

- ・ 6 月 29 日～7 月 1 日にパシフィコ横浜で開催の同展示会において本会の PR ブースを出展するとともに、30 日の風力フォーラム (「躍動する風力発電、最新情報発信」) には本会として協力し、石原孟会長が「風力発電の課題を克服するため学会活動と挑戦」、上田悦紀理事 (国際広報委員長) が「世界の風力発電、日本の風力発電、現状と計画」について、それぞれ講演を行った。

## 6. 風力関連学会の国際会議への本会役員等の参加協力等

- ・ AWEA Windpower 2016 (GWEC 理事会を併催) 2016 5/23～26 米国・ニューオーリンズ (上田理事が参加)
- ・ アジア生産性機構(APO)再生可能エネルギー技術ワークショップ  
2016 5/14～5/18 イラン・テヘラン(永尾副会長が講義)
- ・ The Dutch Wind Days 2016 6/15 オランダ・ロッテルダム (上田理事が参加)
- ・ RE2016 第 11 回再生可能エネルギー世界展示会・風力フォーラム  
2016 6/29～7/1 横浜(石原会長・上田理事が発表)
- ・ WindEurope Summit 2016 & HamburgMesse 2016 9/27～30 ドイツ・ハンブルグ (上田理事・松信理事が  
発表、他)
- ・ Global Offshore Wind 2016 2016 6/21・22 英国・ロンドン (荒川理事が参加)
- ・ WWEC2016TOKYO (本会協賛) 2016 10/31～11/2 東京 (荒川理事が組織委員長)
- ・ アジア再生可能エネルギーワークショップ 2016 12/7～12/9 ベトナム・ハノイ(永尾副会長/小垣理事が講  
演)
- ・ WIND EXPO 2017 第 5 回国際風力発電展 2017 3/1～3 東京ビックサイト (上田理事、吉田監事他が發  
表や参加)
- ・ FOWT2017(浮体式洋上風力発電国際会議) 2017 3/15・16 フランス・マルセイユ (荒川理事が発表)

## 7. 見学会の実施

- ・ 本会主催見学会：10/13 三重大学風力研究関連施設及び青山高原ウインドファーム見学会

## 8. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・ 風力発電推進市町村全国協議会(8/5)、全国風サミット in 珠洲(10/27～29) (三保谷副会長が参加・挨拶)
- ・ 青少年のための科学の祭典 2016 全国大会 (科学技術館) に出展 (ウインドデイ行事を兼ねる) 7/30～31 東京(今  
村理事が参加)

## 9. 国内の風力関連事業への支援

- ・ 世界ウインドデイの一環の日本行事 2016 4月～9月 (日本風力発電協会と共同実施)
- ・ 第 17 回風力エネルギー利用総合セミナー 2016 6/23・24 (足利工業大学総合研究センター：後援)
- ・ 第 11 回再生可能エネルギー世界展示会 2016 6/29～7/1 (パシフィコ横浜・再生可能エネルギー協議会：  
協賛, 展示会へ出展、世界会議等への協力)
- ・ 海洋産業フェスタ in Nagasaki 2016 7/16～18 (長崎県長崎市)
- ・ 第 25 回日本エネルギー学会大会 2016 8/9・10 (日本エネルギー学会：協賛)
- ・ 第 22 回流れのふしぎ展 2016 8/11・12 (日本機械学会：協賛)
- ・ 東京タワー・キッズ環境科学博士 2016 2016 10/8～10 (東京タワー・キッズ環境科学博士 2016 実行委  
員会)
- ・ 日本地熱学会 平成 28 年学術講演会 2016 10/19～21 (日本地熱学会：協賛)
- ・ 第 19 回全国風サミット in 珠洲 2016 10/27・28 (風力発電推進市町村全国協議会：共催)
- ・ WWEC2016 TOKYO 2016 10/31～11/2 (世界風力エネルギー協会：協賛)
- ・ 第 9 回風力発電コンペ WINCOM2016 2016 11/6 (日本大学生産工学部：後援)
- ・ 平成 28 年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー学会合同研究発表会  
2016 11/24・25 (愛媛県松山市：共催)
- ・ 第 24 回「風工学シンポジウム」 2016 12/5～7 (日本建築学会：協賛)
- ・ スマートコミュニティ+IoT World 東北 2017 1/30・31 (スマートコミュニティ+IoT World 東北 実行委  
員会：後援)
- ・ 第 59 回「風に関するシンポジウム」 2017 3/13 (日本風工学会：共催)

## 10. WWEA (世界風力エネルギー協会)

- ・ 日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・ WWEC2016 TOKYO (東京、10/31～11/2)に協力した(協賛)。
- ・ WWEA Quarterly Bulletin に日本情報を提供した。

### 1 1. GWEC（世界風力会議）

- ・GWEC Japan 運営委員会を日本風力発電協会と共同で運営して、研究活動と普及啓発活動に協力した。
- ・GWEC 協賛の国際イベント（AWEA Windpower 2016、WindEurope Summit 2016 & HamburgMesse）に参加した。
- ・理事会（5/25 ニューオーリンズ）に参加した。
- ・Sawyer 事務局長来日時（3/7）に交流会を開催した。
- ・年次統計（Global Wind Statistics）、年次報告書（Global Wind Report）、メルマガ（GWEC News Letter）等に日本情報を提供した。
- ・GWEC からの情報連絡（GWEC News Letter、WindLog）を日本の風力関係者に配信した。
- ・世界ウィンドデイ行事（Global Wind Day）の日本行事 28 件の開催に日本風力発電協会と共同で企画・協力した。

### 1 2. 表彰の実施

- ・本会の総会、風力エネルギー利用シンポジウム及び日本大学主催の風力発電コンペ WINCOM2016 において、以下のとおり各賞の表彰を行った。
- ・平成 28 年度総会（5 月 27 日）
  - 平成 28 年度 功労賞：2 氏（澤田 雅氏、松坂知行氏）
  - 平成 27 年度 優秀発表賞：4 氏（津田実穂氏、菊地由佳氏、村田淳介氏、稲村友彦氏）
- ・第 38 回風力エネルギー利用シンポジウム（12 月 1 日）
  - 平成 27 年度 論文賞：1 件（種本 純氏・石原 孟氏）
  - 平成 28 年度 ポスター賞：5 件（菊地由佳氏他、稲留将人氏他、佐々木隆博氏他、日置史紀氏他、植田祐子氏他）
- ・風力発電コンペ WINCOM2016（11 月 6 日）
  - 日本風力エネルギー学会賞：1 件（山形県立山形工業高等学校指導教員チーム）

### 1 3. 学会誌、論文集、予稿集を J-STAGE に掲載

- ・学会誌及び論文集（通巻 116 号まで）、シンポジウム予稿集（第 37 回まで）の電子化と J-STAGE での定期的な公開を通じて、本会のプレゼンスを向上するとともに、会員の記事や論文を広く公開することにより、引用数の増加及び業績評価にも貢献した。

### 1 4. 風力発電の出前授業活動

- ・海洋産業フェスタ in Nagasaki の海洋キッズコーナーのワークショップでミニ風力発電装置製作（7/16～18 長崎市、ウィンドデイ行事を兼ねる）

### 1 5. ホームページの充実

- ・本会ホームページ内容等について、更新・修正を行った。

### 1 6. 会員の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在の会員数）

- ・特別団体会員：8 団体（前年度末 6 団体）
- ・団体会員：65 団体（前年度末 66 団体）
- ・個人会員：429 名（含、学生会員 39 名/特別会員 3 名）（前年度末 430 名；含、学生会員 34 名/特別会員 3 名）
- ・海外会員：2 名（前年度末 2 名）
- ・名誉会員：2 名（前年度末 2 名）
- ・購読会員：8 名（前年度末 8 名）

## 日本風力エネルギー学会 平成29年度 事業計画(案)

(自：平成29年4月1日 至：平成30年3月31日)

### 1. 総会、代表委員会、理事会の開催

- ・年数回の理事会、年1回の代表委員会、総会を開催する。

### 2. 委員会等の開催

- ・年数回の委員会（企画・運営、編集、学術・事業、国際・広報、表彰、論文）を開催する。

### 3. 学会誌・論文集の発行（第41巻）

- ・第1号（通巻121号）2017年5月発行 825部
- ・第2号（通巻122号）2017年8月発行 825部
- ・第3号（通巻123号）2017年11月発行 825部（40周年記念号）
- ・第4号（通巻124号）2018年2月発行 825部

### 4. 風力エネルギー利用シンポジウムの開催(第39回)

- ・主催：日本風力エネルギー学会
- ・協賛：日本小形風力発電協会、日本風力発電協会（予定）
- ・後援：産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本科学技術振興財団、日本風工学会、日本太陽エネルギー学会、日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会（予定）
- ・開催日：12月6日～7日(予定)
- ・開催場所：科学技術館／東京

### 5. 研究会の開催

- ・風力エネルギーハンドブック研究会：Wind Energy Handbook（第2版）を翻訳し、風力エネルギーハンドブックを発刊するとともに、技術講習会を開催する。

### 6. 再生可能エネルギー2017 国際フォーラムと第12回再生可能エネルギー世界展示会の開催への協力

- ・7月5日～7日にパシフィコ横浜で開催予定の同展示会において本会のPRブースを出展するとともに、同時開催予定の風力フォーラムに本会として協力する。

### 7. 風力関連学会の国際会議への本会役員等の参加協力等

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| ・AWEA Windpower 2017 (GWEC 理事会を併催)     | 2017 5/22～26 米国・アナハイム   |
| ・Offshore Wind Energy 2017             | 2017 6/6～8 英国・ロンドン      |
| ・WWEC2017 (WWEA 理事会を併催)                | 2017 6/12～15 スウェーデン・マルメ |
| ・RE2017 世界展示会                          | 2017 7/5～7 横浜           |
| ・関西 WIND EXPO 2017 (風力市町村協議会の風力シンポを併催) | 2017 9/20～22 大阪         |
| ・China Wind Power 2017 (GWEC 理事会を併催)   | 2017 10/17～19 中国・北京     |
| ・WIND EXPO 2018                        | 2018 2/28～3/2 東京        |

### 8. 見学会の実施

- ・本会主催の見学会を実施する。

### 9. 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動

- ・風力発電推進市町村全国協議会の総会（7～8月）・全国風シンポジウム（仮称、9/22 予定）に参加・挨拶する。
- ・青少年のための科学の祭典 7月29～30日（科学技術館）に出展する。

### 10. 国内の風力関連事業への支援

- |                      |                                     |
|----------------------|-------------------------------------|
| ・世界ウィンドデイの一環の日本行事    | 2017 6月～8月(日本風力発電協会と共同実施)           |
| ・第18回風力エネルギー利用総合セミナー | 2017 6/29・30 足利市(足利工業大学総合研究センター：後援) |
| ・第12回再生可能エネルギー世界展示会  | 2017 7/5～7 パシフィコ横浜(再生可能エネルギー協議会：協)  |

- ・第 26 回日本エネルギー学会大会 賛) 展示会へ出展、世界会議等への協力
- ・第 23 回流れのふしぎ展 2017 8/1・2 愛知県名古屋市(日本エネルギー学会：協賛)
- ・ICOLSE(International Conference on Lightning & Static Electricity)2017 2017 8/17・18 東京(日本機械学会：協賛)
- ・WIND EXPO 2017 第 1 回関西風力発電展 2017 9/13～15 名古屋市(ICOLSE2017 国内委員会：協賛)
- ・東京タワー・キッズ環境科学博士 2017 2017 9/20～22 大阪市(リード エグジビション ジャパン(株)：後援)
- ・平成 29 年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー学会合同研究発表会 2017 10/7～9 東京(後援)
- ・第 10 回風力発電コンペ WINCOM2017 2017 10/26・27 新潟県長岡市(共催)
- ・WIND EXPO 2018 第 6 回国際風力発電展 2017 11/6 千葉県習志野市(日本大学生産工学部：後援)
- ・日本地熱学会 平成 29 年学術講演会 2018 2/28～3/2 東京都(リード エグジビション ジャパン(株)：後援)

### 1 1. WWEA (世界風力エネルギー協会)

- ・日本支部として、研究活動と普及啓発活動に協力する。
- ・WWEA Quarterly Bulletin に日本情報を提供する。

### 1 2. GWEC (世界風力会議)

- ・GWEC Japan 委員会を日本風力発電協会と共同で運営して、研究活動と普及啓発活動に協力する。
- ・GWEC 協賛の国際イベント (AWEA Windpower 2017、China Wind Power 2017 等) に参加する。
- ・年次統計 (Global Wind Statistics)、年次報告書 (Global Wind Report)、メルマガ (GWEC News Letter) 等に日本情報を提供する。
- ・GWEC からの情報連絡 (GWEC News Letter、WindLog) を日本の風力関係者に配信する。
- ・世界ウィンドデイ行事 (Global Wind Day) の日本における開催に日本風力発電協会と共同で企画・協力する。特に、今年は 10 周年を迎えるため出前授業・風車工作教室等も含めて、より広範囲にイベントを企画・実施する。

### 1 3. 表彰の実施

- ・本会が規定する功労賞、論文賞、優秀発表賞、ポスター賞、出版賞の表彰を実施するとともに、本会が後援するイベント等において、日本風力エネルギー学会特別賞等の表彰を行う。
- ・新たな表彰について検討し、必要に応じて表彰規程等を改訂するとともに、会員への周知を図る。

### 1 4. 学会誌、論文集、予稿集を J-STAGE に掲載

- ・学会誌及び論文集、シンポジウム予稿集の電子化と J-STAGE での定期的な公開を通じて、本会のプレゼンスを向上するとともに、会員の記事や論文を広く公開することにより、引用数の増加及び業績評価にも貢献する。

### 1 5. 風力発電の出前授業活動

- ・年間 10 件以上の出前授業の実施を目指す。

### 1 6. ホームページの充実

- ・本会ホームページの更新、内容の充実を行う。

### 1 7. 論文集の充実

- ・15 件程度の投稿を目指す。

### 1 8. 創立 40 周年関連事業の実施

- ・創立 40 周年を記念して、以下の事業を行う。
- ・記念号 : 学会誌に 40 周年記念号を発行する。
- ・アンケート : 本会のあり方、本会への期待等について学会員に対してアンケートを実施する。
- ・座談会 : 本会の役割、将来像についてあるべき姿を議論する座談会を行う。
- ・記念講演 : 風力エネルギー利用シンポジウムにて 40 周年記念セッションを設ける。